

尾張北部自然観察会

2024年6月1日(土) 晴れ

参加者 指導員4名 一般10名 計14名

伊吹山ドライブウェイでは白いヒメウツギ、桃色のタニウツギが目立ち、9合目近くのイヌワシ撮影ポイントでは観察者で賑わっていました。まず静馬ヶ原へ下ると斜面にザゼンソウが点在し、イワニガナ、ミミナグサ、ヒメレンゲ等の小さな花が石灰岩地に張り付いています。北尾根を眺めカッコウ、ジュウイチの声を聴きながらの昼食後、西登山道ではクサタチバナが咲き始めていました。伊吹の名を冠したイブキハタザオ、イブキガラシ、イブキシモツケやグンナイフウロ、ホソバナアマナ、オドリコソウ等を見ながら上ると、頂上付近は一面コバノミミナグサが咲いていました。東登山道の途中では遠方で5頭のシカが悠然と草を食べているのに出くわし驚きました。オオイタヤメイゲツの葉、タンナサワフタギに付くシロシタホタルガの幼虫を観察し、これから咲くマルバダケブキやバイケイソウの群落を見ながら下り、伊吹山の豊かな植生を堪能しました。

[その他観察したもの]

草本：キバナハタザオ、ハクサンハタザオ、タチツボスミレ、ノミノツヅリ、アカソ、イブキタンポポ、コイブキアザミ(蕾)、ヒヨクソウ(葉)、イブキジャコウソウ(葉)、キバナカワラマツバ(葉)等

木本：カマツカ、マユミ、ミヤマイボタ、ウリハダカエデ、マメグミ 等

(山田、後藤)

